

<概要>

- R8年5月13日（水）～15日（金）において、「令和8年度（公社）砂防学会研究発表会「三重大会」が開催されました。
- 初日、2日目は、三重県総合文化センターを会場として研究発表会が開催、3日目は3つの現地研修会のコースが設定されており、その中で三重県桑名市に注ぐ木曾川水系揖斐川の上流域で直轄砂防事業を実施している越美山系砂防事務所の管内を視察されました（参加者：19名）。
- 越美砂防の3大崩壊地の一つであるナンノ谷大崩壊地のほか、鋼製スリット部の高さが11mを超える大蔵谷第1砂防堰堤、明治24年にマグニチュード8.0を記録した濃尾地震による根尾谷断層などを案内しました。
- 越美管内の急峻な地形や脆弱な地質を知っていただくとともに、過去の大災害を受けて、現在も土砂災害防止に向けた規模の大きな砂防施設を整備してしていることを実感していただきました。



ナンノ谷大崩壊地の説明



大蔵谷第1砂防堰堤を見学



ナンノ谷第2砂防堰堤にて集合写真撮影



根尾谷地震断層観察館にて語り部による説明